

# 図書館だより③

2017年6月2日発行  
那覇市立鏡原中学校図書館

## 平和月間 6/1(木)~6/30(金)

慰霊の日がある6月、図書館では、  
6月中：図書館内でパネル展、戦争と平和の本の展示  
6/12(月)：朝の読書の時間に平和の放送読書 を予定しています。

今年は、引っ越しの準備や引っ越し後の片付けも行うため図書館が閉館する時期があります。ギリギリまで開館したいので、閉館のお知らせは決まり次第、生徒の皆さんにお伝えいたします。よろしくお願いいたします。



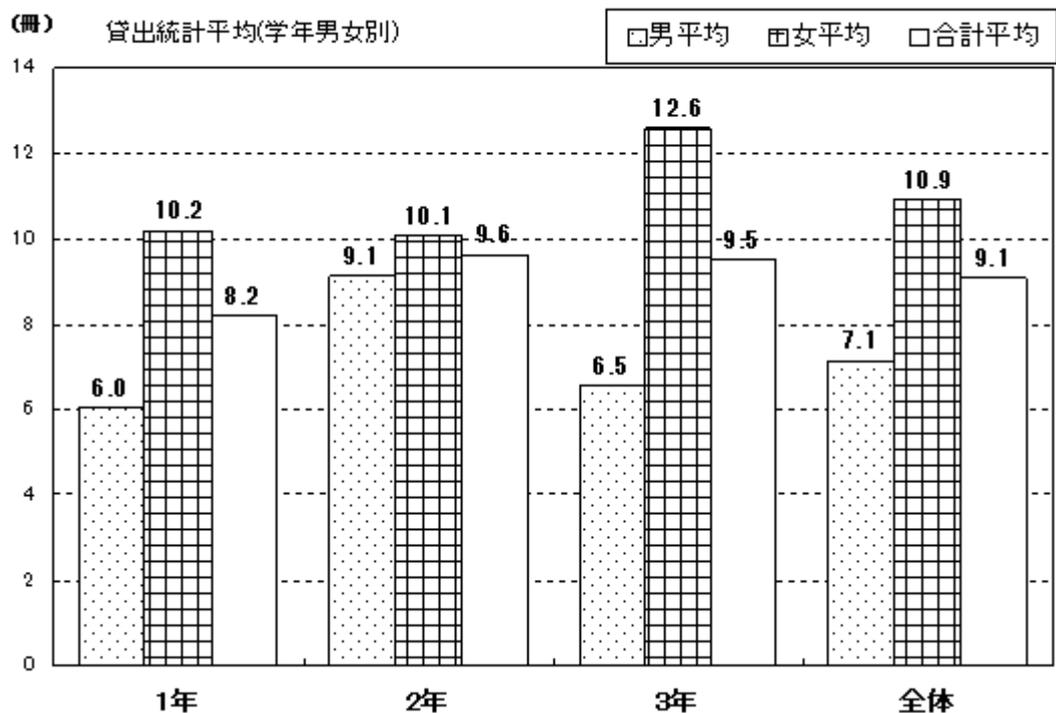
### 貸出状況 (全学年) 2017年5月1日 ~ 2017年5月31日



#### 1. 学年別・男女別 貸出冊数

学年	1年	2年	3年	合計
男	604	784	660	2,048冊
女	1,090	1,006	1,223	3,319冊
学年合計	1,694	1,790	1,883	5,367冊

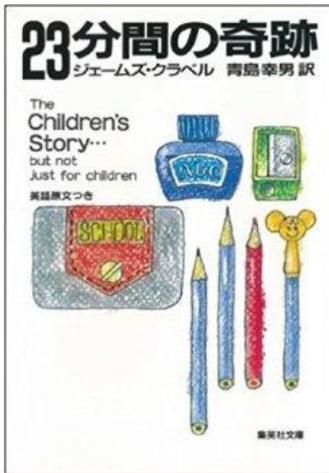
#### 2. 学年別・男女別・一人平均 貸出冊数



貸出冊数が100冊を超える生徒も増えてきました。本好きの生徒は読書目標冊数である40冊を達成するのは比較的容易いのだと思います。が、ぜひ、本の分類にも気を付けて読んでみてください。6の産業の本、読んでみますか？確認してみましょう。

まだ0冊の人が9人います。 早めに図書館で本をかりてください。

## 今月のオススメ本



ジェームズ・クラベル作

# 『23分間の奇跡』

「みなさん、おはよう。あたしが、きょうからみんなの先生ですよ。」あたらしい先生はそう言った。父親をどこかにつれていった国の先生に、最初、ジョニーは必死に抵抗しようとするのだが……。

イギリス人のジェームズ・クラベルが書いた本で、元のタイトルは『The Children's Story … but not just for children』といます。どこにも原題の要素がない日本語タイトルですが、とても皮肉が効いていて、名訳だと思えます。——23分間で一体何が起きたのか？ 分からない、と答える人もいるでしょうし、ぜひ、読んだ人同士で、内容について話し合ってもらいたい作品です。登場する子どもたちの名前が、外国のどこかの名前だけれど、どこの国とは分からない「普通の名前」なのも、ポイントの1つ。どこの国のお話で、誰がどういう思想を持っていて、どの国がどう変わったのか……という見方をせず、普遍的な目で捉えてほしいです。

見た目ほど長い作品ではないので、中学生なら、朝の読書の時間で読んでしまえる量です。『5分後』シリーズなどに似た短編小説が読みたい人にもおすすめです。ぜひ手に取って読んでみてください。

蛇足になりますが、この話と対照的な作品としては、アフトニオ・スカルメタ作『ペドロの作文』という絵本が思い浮かびました。中学校でも買ってほしいかな？ と思える名作絵本なのですが、残念な事に現在入手困難の絶版本となっています。那覇市の公共図書館には所蔵がありますので、『23分間の奇跡』が気に入った方はこちらの絵本も読んでほしいです。

(文責：うえはら)

- ★ 毎月第3日曜日は「ファミリー読書の日」です。  
ご家庭で、親子で、本に親しむ機会を作りましょう。 ★

## 6月の読書目標

『戦争に関する  
本を読もう。』

